

<研究課題名>

日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3 腎症コホート研究

<研究期間>

2023年2月14日から2032年1月30日まで

<研究の目的・意義>

膜性増殖性糸球体腎炎とは、原発性の慢性糸球体腎炎の一種に含まれる病気のことをいいます。ネフローゼ症候群(大量の蛋白尿により、血清蛋白が低下し、浮腫をきたす症候群)や、慢性腎炎症候群(蛋白尿や血尿が持続し慢性的な経過で腎機能が低下する症候群)になる症例が多くあり、腎不全に至ることもあります。今回の研究では、膜性増殖性糸球体腎炎の診断、発生頻度、機序、治療について調査することを目的としています。

<研究方法>

当院で腎生検を実施し、膜性増殖性糸球体腎炎と診断された方を対象に実施している研究です。研究への参加にご同意いただきましたら、Web上の日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3腎症コホート研究に血液・尿検査等の検査結果や処方された薬の内容等の治療内容を登録いたします。さらに登録時に、血液 10mL と尿 10mL を通常診療時に上乗せして採取します。採取した検体は名古屋大学に送付し、膜性増殖性糸球体腎炎の原因と考えられている補体の活性化/補体活性制御異常について調べられます。

補体の活性化/補体活性制御異常が疑われた場合、それに関与する遺伝子異常があるか血液から抽出した DNA を用いて遺伝子解析を行います。遺伝子解析は名古屋大学からファルコバイオシステムズに委託されて行われます。

<予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の研究責任者までお問い合わせ下さい。

連絡先:

研究責任者: 自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門 教授 長田 太助

所在地: 栃木県下野市薬師寺 3311-1

電話番号: 0285-58-7346

苦情の受付先:

自治医科大学附属病院臨床研究センター管理部 (電話 0285-58-8933)